

大学名 浜松医科大学

表題 屋根瓦式PBLチュートリアル教育～電子黒板を活用した新システムへ

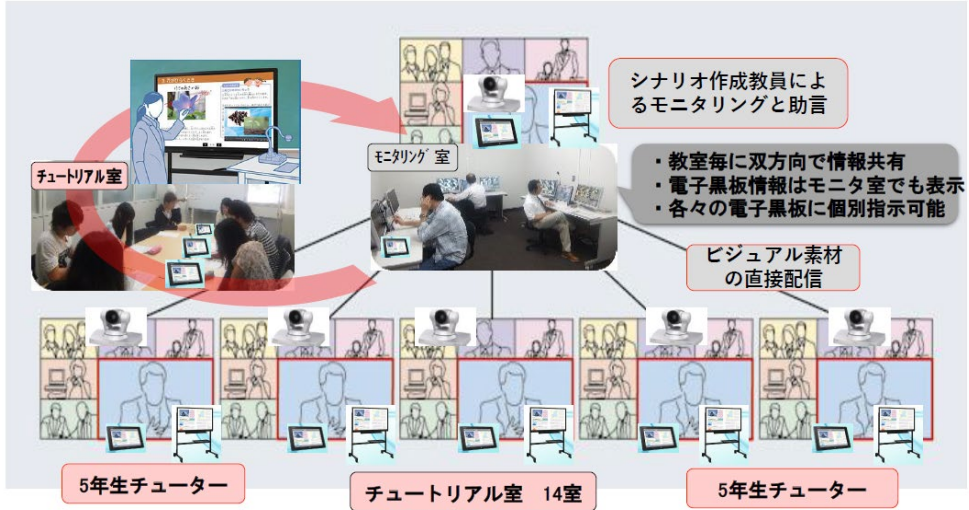
本学では医学科2年生から4年生までの3学年でPBLチュートリアル教育を行っている。上級生がチューターを担当する「屋根瓦式PBLチュートリアル教育」と、モニター室で映像と音声を教員がモニターし適宜アドバイスを送ることで学生チューターの指導の質を担保する「PBLビジュアルコミュニケーションシステム」を採用している事を特徴としている。

令和2年度には「電子黒板を用いた改良型双方向ビジュアルコミュニケーションシステム」に更新し、電子黒板上のプロダクトにモニター室から教員が直接記入することが出来るようになり、指導・助言の質を以前より高める事が可能となった。

今年度はコロナ禍であったため三密を避けるためZOOMを用いた完全オンラインPBLチュートリアル教育を実施している。しかし、屋根瓦式PBL教育は継続し、学生チューターが活躍している。

今後コロナ禍が落ち着いたところで、新システムを活用したPBLチュートリアル教育を開始する。また、オンラインPBLチュートリアル教育の経験を活かし、状況に応じてオンラインとオンサイトのハイブリッド型教育も実施していく。

新PBLビジュアルコミュニケーションシステム全体像



(屋根瓦方式PBLチュートリアル)  
電子黒板を用いた改良型双方向ビジュアルコミュニケーションシステム  
モニター室からの教員による助言・電子黒板への直接指導下に、上級生(5年生)チューターが下級生を指導

